

「東日本大震災 5 周年復興フォーラム」で登壇・出展しました(2016/06/06)

テーマ：震災復興

URL：<http://shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp/symposium/sympo20160111>

平成 28 年 6 月 6 日（月），イイノホール&カンファレンス（東京都千代田区）で、「東日本大震災 5 周年復興フォーラム」（主催：復興庁）が開催されました。同フォーラムは、復興庁が 6 月を「東日本大震災の記憶の風化を防ぐ、東北復興月間」としたことに併せて開かれたもので、会場にはおよそ 400 人が集まりました。

同フォーラムは、当研究所の今村文彦所長が、メイン会場で行われたパネルディスカッション「震災からの教訓と復興・創生に向けた今後の課題」にパネリストとして、防災・まちづくり分科会のパネルディスカッション「今後の災害に備えた将来への提言」にコーディネーターとして登壇しました。後者のパネルディスカッションでは、東日本大震災で被災した市町から、山本正徳・宮古市長，野田武則・釜石市長，菊地啓夫・岩沼市長，阿部秀保・東松島市長，須田善明・女川町長，長嶋忠美・復興副大臣といった 5 首長・1 副大臣といった豪華メンバーがパネラーとして登壇していました。当研究所の佐藤翔輔助教（情報管理・社会連携部門）が、「みんなの防災手帳」と「BOSAI CAMP」の取り組みについて、防災・まちづくり分科会でのプレゼンテーションとブース展示を行いました。



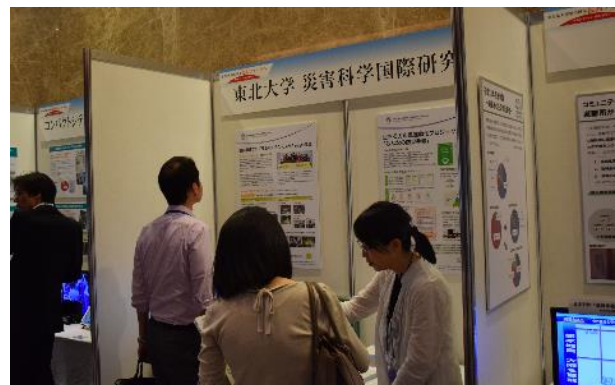
全体パネルディスカッションの様子
（左から 2 番目：今村文彦所長）



防災・まちづくり分科会パネルディスカッション
の様子（コーディネーター：今村文彦所長）



防災・まちづくり分科会プレゼンテーション
佐藤翔輔助教（進捗報告）



本学ブースの様子